

大阪市史編纂所セミナー

探そう!大阪市の歴史魅力 第16回

講演会

大阪の新聞作家菊池幽芳—大正期の芝居と小説—

菊池幽芳(きくちゆうほう)は、明治から大正にかけて『大阪毎日新聞』の看板作家として活躍しました。彼は華族の女性を主人公にした恋愛小説を得意としており、女性読者の心をつかみました。菊池の小説は、そのあまりの人気ぶりから、必ず道頓堀で上演され、さらには画集や絵葉書等関連グッズが劇場近くの商店で発売されるなどの社会現象を巻き起こしました。未だ色あせない彼の作品を通して、大正期の芝居と小説について具体的に見てみましょう。



「明治後期の道頓堀」『美人見立京阪神名所図絵』より
(関西大学図書館所蔵)

よしかわ まりこ
講師：吉川真理子
(元大阪市史料調査会調査員)

▼講師プロフィール▼

博士(文学)。近現代日本史(大衆文化史)を専門とする。関西大学博士課程後期課程修了。同大非常勤講師・大阪市史料調査会調査員を経て、昨年3月より株式会社出版文化社にてアーキビストとして勤務。主な論文に、「大正期の道頓堀五座と菊池幽芳」「大阪の新聞作家渡辺霞亭—生涯と思想—」等、共著として大谷渡編著『大阪の近代—大都市の息づかい—』(東方出版刊、2013年)がある。

▼主催・お問い合わせ▼

大阪市立中央図書館 利用サービス担当

〒550-0014 大阪市西区北堀江 4-3-2

電話：06-6539-3302

<https://www.oml.city.osaka.lg.jp>

令和2年 3月7日(土曜日)

- 時間● 午後2時から4時
(開場 午後1時30分)
- 定員● 300名(当日先着順) ●入場無料
- 会場● 大阪市立中央図書館
5階大会議室

大阪市史編纂所セミナー

「探そう!大阪市の歴史魅力」とは・・・

本セミナーでは、『新修大阪市史』(本文編・史料編)、『大阪市の歴史』等にかかれていることや、大阪市史編纂所が集めた歴史情報をわかりやすくご紹介していきます。



Osaka Metro 千日前線・長堀鶴見緑地線 西長堀駅7番出口すぐ

大阪検定協力事業



○ 菊池幽芳（きくちゆうほう）ってどんな人？

商用データベースで調べてみよう ○

菊池幽芳（1870-1947）は、明治・大正時代の小説家です。水戸（現在の茨城県）で生まれました。小学校教員を経て大阪毎日新聞社に入り、新聞小説を執筆しました。特に『己が罪』『乳姉妹』は、明治期の代表的家庭小説として話題を呼びました。

著作は、『幽芳全集』（全十五巻 国民図書）にまとめられており、大阪市立中央図書館で所蔵しています。 ※図書館内のみでご覧いただけます。

（参考資料）

商用データベース「JapanKnowledge」：国史大辞典「菊池幽芳」

日本大百科全書（ニッポニカ）「菊池幽芳」



大阪市立図書館では、新聞原紙のほか、縮刷版、マイクロフィルム、商用データベースで様々な新聞記事をご覧いただけます。

大阪版の新聞は、以下の方法でご覧いただけます。

【大阪版の新聞記事の探しかた】

朝日新聞 原紙：最近1年分（当日分は1階 バックナンバーは3階）

マイクロフィルム：創刊（明治12年1月）～平成30年12月

聞蔵Ⅱビジュアル：紙面イメージで創刊（明治12年1月25日）～1999年

毎日新聞 原紙：最近1年分（当日分は1階 バックナンバーは3階）

マイクロフィルム：紙面イメージで創刊（明治9年2月）～平成29年12月

毎索：創刊（明治9年2月20日）～1942年12月31日

読売新聞 原紙：最近1年分（当日分は1階 バックナンバーは3階）

マイクロフィルム：創刊（昭和27年11月）～平成30年12月

ヨミダス歴史館：テキストで1990年11月以降



明治期の新聞連載小説を、

マイクロフィルムや新聞データベースでお楽しみください！

○新聞データベース アクセスキャンペーン ○

下記の期間、対象の新聞データベースを同時に使用できる数を大幅にアップします。この機会にぜひ、新聞データベースをご利用ください。

・2020年2月23日（日曜日）～2020年2月29日（土曜日）

聞蔵Ⅱビジュアル（朝日新聞）・ヨミダス歴史館（読売新聞）・産経新聞データベース

・2020年3月8日（日曜日）～2020年3月14日（土曜日）

聞蔵Ⅱビジュアル（朝日新聞）・ヨミダス歴史館（読売新聞）・毎索（毎日新聞）